

令和元年度決算について

学校法人駒澤大学の令和元年度決算は、監事および公認会計士の監査を経て、令和2年5月29日の理事会・評議員会において承認されました。

①資金収支について

【収入の部】

前年度繰越支払資金を除いた当年度収入は202億715万円となりました。主な項目は学生生徒等納付金収入156億2,088万円。入学検定料などの手数料収入8億9,304万円。教育後援会・同窓会等の後援団体、KUサポート等からの寄付金収入2億3,200万円。国や地方公共団体からの補助金収入18億793万円。私学退職金財団等交付金などの雑収入8億2,534万円。授業料・入学金等の前受金収入51億4,422万円。各種引当特定資産取崩等のその他の収入20億2,485万円。これらに資金収入調整勘定、前年度繰越支払資金等を加えた収入の部合計は、330億9,811万円となりました。

【支出の部】

翌年度繰越支払資金を除いた当年度支出は224億3,641万円となりました。主な項目は人件費支出107億1,594万円。教育活動・研究活動・学生生活支援などの教育研究経費支出46億8,236万円。教育・研究を間接的に支援する管理経費支出8億9,611万円。日本私立学校振興・共済事業団、市中銀行等への借入金等返済支出3億8,759万円。駒澤大学祖師谷寮・野球場再整備工事、駒澤大学開校130周年記念棟（低層棟）建設工事等の施設関係支出13億4,047万円。全身用エックス線CT診断装置、電話交換機(PBX)等の設備関係支出2億3,534万円。各種引当特定資産への繰入等の資産運用支出39億円。これらに資金支出調整勘定、翌年度繰越支払資金等を加えた支出の部合計は、330億9,811万円となりました。

②活動区分資金収支について

【教育活動による資金収支】

教育活動による資金収支は、支払資金の流れの面から本業の教育研究活動の収支状況を表しています。学生生徒等納付金収入、手数料収入のほか、施設設備整備以外の特別寄付金収入や経常費等補助金収入などの教育活動資金収入計197億832万円から人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出などの教育活動資金支出計162億9,156万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等12億3,023万円を引いた教育活動資金収支差額は、21億8,652万円のプラスとなりました。

【施設整備等活動による資金収支】

施設整備等活動による資金収支は、施設設備の取得・売却等の活動に関する収支状況を表しています。施設設備補助金や施設設備寄付金、駒澤大学新図書館棟（仮称）建設事業に充当する第2号基本金引当特定資産に繰入れるための、減価償却引当特定資産取崩収入などの施設整備等活動資金収入計5億4,811万円から施設関係支出、設備関係支出、駒澤大学新図書館棟（仮称）建設事業に充当する第2号基本金引当特定資産繰入支出などの施設整備等活動資金支出計51億7,582万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等3,232万円を引いた施設整備等活動資金収支差額は、46億6,003万円のマ

イナスとなりました。

【その他の活動による資金収支】

その他の活動による資金収支は、借入金の収支、資金運用の状況等の財務活動、預り金等の受け払い等の経過的な活動に関する収支状況を表しています。借入金等収入、受取利息・配当金収入、退職給与引当特定資産等の有価証券償還に伴う取崩収入などその他の活動資金収入計 9 億 7,781 万円から借入金等返済支出、預り金支払支出、退職給与引当金等の再組入・積み増しによる繰入支出などその他の活動資金支出 7 億 3,549 万円を差し引いて、前年度及び翌年度以降に出入金される調整勘定等 192 万円を加えたその他の活動資金収支差額は、2 億 4,424 万円のプラスとなりました。

教育活動による資金収支差額、施設整備等活動による資金収支差額、その他の活動による資金収支差額の収支差額を合計した結果、支払資金は前年度より 22 億 2,926 万円減少し、翌年度繰越支払資金は 106 億 6,169 万円となりました。

③事業活動収支について

【経常収支】

教育活動収支は、本業である教育研究活動を行うための収入・支出です。学生生徒等納付金や経常費等補助金などの教育活動収入計 197 億 1,338 万円から人件費、教育研究経費、管理経費などの教育活動支出計 179 億 7,134 万円を差し引いた教育活動収支差額は 17 億 4,203 万円の収入超過となりました。なお、この支出のうち 19 億 4,094 万円は減価償却額によるものです。

教育活動外収支は、受取利息・配当金や借入金等利息のように財務的な活動に伴う収入・支出です。受取利息・配当金等による教育活動外収入計 6,223 万円から借入金等利息等による教育活動外支出計 4,086 万円を差し引いた教育活動外収支差額は 2,137 万円の収入超過となりました。

以上により、経常的な収支を示す経常収支差額は教育活動収支差額と教育活動外収支差額の計で、17 億 6,341 万円の収入超過となりました。

【特別収支】

特別収支は、施設設備に関する寄付金・補助金や資産売却・資産処分等の臨時的な収入・支出です。有価証券の償還等による資産売却差額や施設設備に関する寄付金・補助金などの特別収入計 6,360 万円から資産処分差額などの特別支出計 9,639 万円を差し引いた特別収支差額は 3,278 万円の支出超過となりました。

【収支差額】

経常収支差額と特別収支差額の合計額である基本金組入前当年度収支差額は、17 億 3,062 万円の収入超過となり、ここから基本金組入額 33 億 7,664 万円を差し引くと、令和元年度の当年度収支差額は 16 億 4,601 万円の支出超過となりました。この結果、翌年度繰越収支差額は 182 億 1,530 万円の支出超過となりました。

なお、教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の事業活動収入の部を合計した事業活動収入計は 198 億 3,922 万円、事業活動支出の部を合計した事業活動支出計は 181 億 860 万円となりました。

④貸借対照表について

【資産の部】

有形固定資産は、主に駒澤大学祖師谷寮・野球場整備事業、130周年記念棟建設事業（低層棟）による建物、構築物の増加があったものの、資産全体に係る減価償却額が多額であるため4億4,296万円減少しました。特定資産は、第2号基本金引当特定資産の組入れ、建設準備引当特定資産の組入れ等により27億9,690万円増加しました。その他の固定資産は、差入保証金回収収入等により5,616万円減少しました。流動資産は、現金預金等の減少に伴い21億4,645万円減少しました。その結果、前年度より1億5,131万円増加し、資産総額は944億1,337万円となりました。

【負債の部】

負債総額は184億7,311万円（前年度比15億7,931万円減）となりました。

固定負債は、借入金を約定どおり返済した長期借入金や退職給与引当金等が減少し6億6,847万円減少しました。流動負債は、未払金、前受金等の減少により9億1,083万円減少しました。その結果、前年度より15億7,931万円減少し、負債総額は184億7,311万円となりました。

【純資産の部】

基本金総額は前年度より33億7,664万円増加し、941億5,556万円となりました。翌年度繰越収支差額は、当年度収支差額16億4,601万円の支出超過となったことにより、182億1,530万円の支出超過となりました。その結果、純資産は前年度より17億3,062万円増加し、759億4,026万円となりました。